

Pick up News

「建築・まちづくり」の研究のため名古屋大学へ進学。

建物の適切な利活用や広報を研究し、建築物の持続可能な社会づくりを目指している。



総合システム工学科 / 都市環境コース / 特別進学コース

谷戸 快地さん

研究設備が備わった充実した環境で 学ぶことができる

将来、建築について研究していきたいと考えていて、大学のように専門分野をなるべく早く、より深く学ぶことができる近大高専に進学を決めました。高校と違い、専門分野を研究している教授から直接指導を受けることができ、研究設備も整っているため、自分のやりたいことをすぐに形にすることができました。また、特別進学コースという大学受験に特化した道も選ぶこともできるため、大学進学を希望していた私にぴったりだと感じました。

近大高専で学んだことを 次のステップ「名古屋大学」で磨いていく

大学、大学院まで進学した後、最終的には研究や開発、まちづくりに関する職に就きたいと考えており、建物の利活用やリノベーションに関する研究と様々な観点から建築をまち規模で考えることができる「名古屋大学」への進学を目指しました。特別進学コースでは数学や専門分野だけでなく苦手科目についてもしっかりと指導をしていただきました。勉強をサポートしていただいた先生方には感謝しかありません。これから私と同じように近大高専で学び、大学へ編入しようと考えている人は、壁にぶつかることもあると思いますが、なにより自分らしさを大事にして、仲間とともに楽しく真剣に学んでいけば充分だと思うので、どんな環境でも進んでいけるあなたの強さをぜひ磨いていってください。

夢だった惑星探索ロボットを作るため東北大学へ進学

「学びたい」を応援してくれる環境だったからこそ 難しい勉強にも向き合うことができた

幼いころから宇宙やロボットに興味があり、いつか惑星の探索ロボットを作れるようになりたいと思うようになりました。自分がやりたいことを研究できる大学への進学を決め、宇宙に対する理解をより深めるために天文学など、編入に必要な教科以外の学習にも独学で取り組みました。さらに海外からの学生も在籍する宇宙研究室での活躍のため、語学にも取り組んでいます。難しい問題や数式などがわかるようになり、学びたいことを自ら進んで学べる環境があることがいかに特別なことなのかを改めて実感することができました。

実践的な知識を得たことで自信を持って 大学進学後の研究に取り組むことができる

探索ロボットを作るためにはロボットに対する知識も必要不可欠。基礎的な技術を学ぶこともでき、実践しながら技術を身につけられたのは、近大高専が技術を学ぶことができる環境が整っていたからだと思います。進学後の不安はもちろんありますが、さまざまな知識を身につけることでその不安に負けない強さを得ることができたと思っています。夢を叶えるため、夢に挑戦するためにはまだまだ大変な道のりだと思いますが、近大高専での学生生活を得て、それに向き合う覚悟ができました。



総合システム工学科 / 機械システムコース / 特別進学コース

小川 功祐さん